

つるがしま里山サポートクラブ 活動報告書（令和7年度）2025

活動日時	月	日	曜日	開始	終了	場 所	会員参加数
	6	1	日	8 : 30	15 : 30	太田ヶ谷の森	18名
活動名称	夏の里山体験会					報告者：吉井 優	

1、活動目的

里山体験会は、子どもゆめ基金に助成申請して成り立っているイベントです。昨年11月に高倉市民の森と藤金市民の森を会場に夏の里山体験会として申請し、採択されました。

12月に高倉市民の森の主要部分が売却されたと知らされて、会場を高倉市民の森から太田ヶ谷の森に変更申請して、開催できました。鶴ヶ島グリーンパークにて、太田ヶ谷の森の主要部である5, 5ヘクタールの雑木林は、自然公園として、鶴ヶ島市が管理している敷地です。駐車場もトイレも完備した自然体験イベントを開催するには絶好の条件を満たしている樹林地です。ここを広く鶴ヶ島市内外に知ってもらい、子どもたちに楽しんでもらうため、里山体験会を企画しました。

2、活動内容ほか

毎年行っている、ツリーイング、ハンモック、綱渡りと、高倉では魚とりを行っていましたが、小川の整備が不十分なため、笹船流しを川の活動としました。今回から、小学校の野外授業で好評な穴掘り体験を追加しました。また近隣住人の手助けもあり、縄編み体験も行いました。開催予定日が雨天となり1日雨天順延での開催となり、参加者の激減を心配していましたが、好天にも恵まれ、隣のサッカー場にアピールしたことも幸いして、子ども60名、大人51名の参加となり、無事子どもゆめ基金の助成条件をクリアできました。

3、評価：

初めて太田ヶ谷の森でツリーイング体験を行いましたが、指導団体からは、コナラの木の枝ぶりが素晴らしく、他のツリーイング会場にくらべ、楽しさが表現できる会場だとの評価を受けました。子どもたちも元気よく頂上まで登る子たちが多く、楽しさにあふれていました。綱渡りやハンモックも、並ぶことなく、自由に遊べて、満足できる体験のようでした。穴掘りも、小学校の野外授業で好評ですが、同様に夢中に取り組む子供たちをみると別の里山体験会でも採用する予定です。笹船流しは、地味な体験で一度しかやりませんでした、アンケートでやりたかったとの意見がありもっと機会をふやすべきでした。縄編み体験と綱引きも。子どもが集まっていました。会員の村上さんが活躍した着ぐるみのつるゴンも子供たちに大好評でした。

4、課題

太田ヶ谷の森は、開かれてからまだ数年で、鶴ヶ島市内でも、認知度が低いようです。高倉市民の森が使えなくなった現在、まとまった5, 5ヘクタールの樹林地は、市内最大の自由に散策できる森であり、豊かな自然を楽しめる施設ですので、もっとPRするのを感じました。綱渡りで、上下のロープ間隔が広く、小さな子供たちには難しいとのクレームがありました。昨年まで、ロープ間隔1, 1メートルで実施していて、ほぼすべての子供たちに満足してもらっていたため、1, 1メートルを遵守してください。イベント終了時には、片付けが始まり流れ解散となってしまったが、感想を聞く終了セレモニーだけは、開催すべきだったと反省しています。

<里山参加会員>

阿部、石樽、松下、石川、内藤、小澤邦、小沼、金、
小嶋、佐野、上見、柳川、吉井、松井、吉富 撮影時不在 村上、杉山、鈴木

<活動写真>

